

建設道

建設道の心得

其の一

建設業というやり甲斐のあるこの生業を愛し、ただの業としておこなうのではなく自身の生き方として捉え、誇りをもって取り組み、日々技術の向上に努め、価値ある作品を世に送り続けることで、この国に貢献する

其の二

道とはその過程であり人でいえば生き様である、結果の善し悪しに一喜一憂するのではなくそこに達するまでの経緯に重きを置き、成長することの喜びや人との繋がりや有難さ、自分と向き合い自己の力を培い、その道中の在り方を重視する

其の三

働くことで我々が生けるこの世界や人生の本質を学び、金銭を得るために漠然と働くのではなく利他の精神で世へ貢献することが大事である、「道義・礼節・心」を学び、目先の損得に縛られず人としての道を知り、人として大成することを目標とする

社訓 理業一致

理とは理合いであり業とは技である。

元は剣道の言葉だが、私達建設業者にとっても全く当てはまる言葉であります。

理合いとは物事の理由や道理のことであり、技とは私達でいえば技術のことです。

ただ技術を追求していくのではなく、そこに道理がなければそれは何の味気もない小手先の技であり、またそれを成す道理だけ声を大にして唱えても、ただの机上の空論であります。

理を元にして業(技術)を磨いていくことが理想であり、どちらかだけでは本物ではないということです。

社 是 真・善・美

認識上の真と、倫理上の善と、審美上の美。理想を実現した最高の状態をいう。

この三つは、それぞれ論理学・倫理学・美学という独立の学の主題であるとみられる場合もあるし、また、価値論で、相互に関連し合った統一的な価値とみられることもあります。

真か虚か、善か悪か、美しさか醜さか、この三つは常に物事を判断するうえで重要な物差しであり、どれかだけでなく三つとも全て揃っていないとまらない価値観であります。

しかし我々の周りにはいいことのように見えて嘘の言葉や、あるいは地位があっても美德の伴っていない人物などが当たり前のように蔓延っています。

真・善・美全て揃うことが理想の状態であり、私達は常にそれを追求せねばなりません。

株式会社加来建設 MVV（ミッション・ビジョン・バリュー）

企業使命

私たちは常に進化し続け、時代から求められる唯一無二の建設会社となる

経営理念

- 一、人と和を第一とし関わる全ての人を幸せにする
- 二、人を育てる経営で地域社会と業界の発展に寄与する
- 三、経営とは道義と礼節を合わせて営むものと心得る

行動憲章

- 一 今日一日、一所懸命働きます！
- 一 今日一日、安全を最優先に作業します！
- 一 今日一日、誠心誠意で心のこもった仕事をします！
- 一 今日一日、技術の研鑽に努め進んで学びます！
- 一 今日一日、感謝の心と謙虚な姿勢を忘れません！
- 一 今日一日、世の為人の為みんなの笑顔の為に！
- 一 今日一日、大和魂と愛社精神を持ち仕事に取り組みます！